

1 目指す姿

(1) 目指す学校像		地域・家庭との連携により 夢と志を持って生きる力を育む学校
(2)	育みたい生徒像	<p>○知・徳・体のバランスの取れた生徒</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進路実現に向け、目的意識を持ち主体的に学習や学校活動に取り組む生徒 ・正義感、規範意識、自他の生命の尊重と他者への思いやりの心を持つ生徒 ・生涯にわたりたくましく生きることができる健康な体や体力を持った生徒
	ありたい教職員像	<p>○四日市四郷高校の職員であることに使命感と誇りを持って職務に取り組む教職員集団</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円滑な校務運営と課題解決のため、コミュニケーションとチームワークを大切にする教職員 ・生徒の社会的自立と進路実現に向け、情熱と主体性を持って指導に取り組む教職員 ・学校目標実現のため、地域や保護者と連携した取り組みや実践活動を行う教職員 ・自ら課題の発見に努めるとともに、自己の指導力向上に取り組む教職員 ・変えるべきものと、変えるべきでないものを冷静に識別し、勇気を持って改革への実践的取組ができる教職員

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	<p><生徒></p> <ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いた環境で楽しく興味深い授業が受けられること。学力を伸ばせること。部活動を充実させて、熱心な指導を受けられること。社会に通ずる礼儀・マナーを身につけること。 <p><保護者></p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣を身につけ、社会において必要な生きる力（知識と技能）を身につけること。 ・希望する進路を実現すること。 <p><中学校></p> <ul style="list-style-type: none"> ・明確な教育目標を示すとともに、多様な生徒を受け入れること。丁寧で細やかな指導と、確実な進路を保障すること。 <p><地域住民></p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共のマナーを守ること。 ・地域の行事等を通して地域との交流を深め、活性化に貢献してくれること。 ・災害時における支援の担い手として活躍すること。
-----------------------------	--

		連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待		<p><保護者及び学校関係者> 様々な情報の提供。学校との信頼関係。</p> <p><地域住民> 地域へのボランティア活動や地域の行事等への参加。</p> <p><中学校> キャリア教育の観点での協力。更なる信頼関係。</p> <p><企業・大学等> 社会人としてふさわしい知識、態度の定着、向上。高等学校レベルの学力の習得。</p>	<p><保護者及び学校関係者> 教育活動への理解、協力と積極的な関わり。</p> <p><地域住民> ボランティア活動や地域行事等を通じての生徒の育成。</p> <p><中学校> 義務教育レベルの学力の定着。キャリア教育の観点での進路指導。</p> <p><企業・大学等> 就業体験やオープンキャンパスの機会創出と受け入れ。就業・入学前の事前指導。</p>
(3) 前年度の学校関係者評価等		<ul style="list-style-type: none"> ・地域とのつながりを大切にし、「四郷」を知ってもらえる機会として地域の行事に参加・協力をお願いしたい。 ・地域、社会への「四日市四郷高校」のアピールが足りない。学校の PR を含めて学校側から発信をしていかななくてはならない。 ・進路において、現在の社会情勢等をもっと授業等で教えていき、これからの就業について生徒が困らないようにして欲しい。 	
(4) 現状と課題	教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の多くが落ち着き、コースの特色をいかした学習に取り組んでいるが、主体的に学習活動に取り組む者は、まだ限られている。 ・基礎学力の不十分な生徒が多数いる。 ・進路指導部や学年が連携し、十分に進路決定に向けた選択肢を示しているが、進路決定に向けて早期から自ら行動できない生徒が多い。自分の成長や取り組みを生徒が自分でわかり、自己評価できるようにしたい。 	
	学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> ・5年、10年後の四日市四郷高校の未来を見据えた学校づくりを念頭に入れ、学校の魅力を中学校や地域に向けて効果的に発信していく必要がある。 ・組織間の連携体制が不十分なため、特定の教員に負担がかかっている。 ・クラス減に対応してコース・カリキュラムを再編する必要がある。 	

3 中長期的な重点目標

A 教育活動	<p>①学習意欲の向上と基礎学力の定着にむけた授業改善・授業研究等の推進。</p> <p>②学習習慣の定着と主体的進路選択が行える力を育成するキャリア教育の充実。</p> <p>③規範意識の向上と道德心の醸成。豊かな感性の育成。</p> <p>④運動知識の拡充と健康管理上の実践力の向上。</p> <p>⑤地域に根ざした教育活動の推進と特色を備えた教育活動の実施。</p>
B 学校運営等	<p>①時代や社会の要求に応え、持続可能な教育活動を行うためのカリキュラムマネジメント。 (コース制の再編・見直し、新学習指導要領や入試改革に対応した教育課程の作成等)</p> <p>②家庭や地域とのさらなる交流による、開かれた学校づくり。</p> <p>③組織、職員間の連携体制を構築し、組織力向上と業務内容の見直し等による過重労働の解消。</p> <p>④コンプライアンス意識の高い職場風土の醸成及び、不祥事根絶に対する職員個々の意識改革。</p>

4 本年度の行動計画と評価 (各分掌、教科の行動計画と評価については、別冊で記載する。)

A 教育活動

項目	取組内容・指標	結果
①学習意欲の向上と基礎学力の定着	<p>授業規律の確立 (取組の指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業開始時の持ち物チェックの徹底 ・ 授業見学週間時の巡回 <p>(成果指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年2回実施の学習アンケート「授業では、落ち着いた気持ちで勉強できている」項目で「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」が85%以上。昨年度は80.7% ・ 授業見学週間時に各教員週1時間巡回の時間を設ける 	<p>12月実施の学習アンケート「授業では、落ち着いた気持ちで勉強できている」項目で「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」が83.8%であった。昨年度は80.7%で3.1%上昇した。</p> <p>授業見学週間を実施し、職員に巡回を促した。</p>
	<p>生徒の基礎学力の定着 (取組の指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1,2年生の創郷の時間によるマナトレの実施と認定テストの実施前指導と事後指導 ・ 基礎力診断テストでのD3-層の減少 	<p>D3-については1年生で達成 2年生では未達成だが、D3-の人数については減少した。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商業英語検定の受検 (成果指標) ・ マナトレ認定テストで1年生は7級、2年生は4級まで全員合格。 ・ D3-層は1年生10名以内、2年生5名以内 ・ D3-層への補習授業の実施 ・ 商業英語検定3級合格者120名以上 	<p>D3-の生徒に対する補習授業については実施した。</p> <p>マナトレ認定テストについては、1学年は7名で達成できた。2年生では17名が不合格となった。</p> <p>商業英語検定の合格者は約80名であった。</p>
	<p>オンライン授業の整備 (取組の指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ オンライン授業を整備する。 <p>(成果指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ オンライン授業を週3日以上実施する。 	<p>休校中に各学年とも週に3回実施した。</p>
	<p>公開授業の実施 (取組の指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公開授業を実施し、各教員の授業力を向上させる。 <p>(成果指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年2回の授業見学週間に合わせて、保護者、近隣中学校、高校に授業を公開する。 	<p>校内での公開授業は実施したが、外部への公開はコロナ禍により実施できなかった</p>

<p>②学習習慣の定着と主体的な進路選択</p>	<p>学習習慣の定着 (取組の指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習記録表の活用。考査期間前の計画と記録、休校期間中の学習記録表を作成。課題と必要な時間を意識させ、家庭での学習時間を増やす。 <p>(成果指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習記録表提出100%を目指す。 ・考査前2週間の目標学習時間を達成した者70%以上を目指す <p>主体的な進路選択 (取組の指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面談を行ない、希望進路に必要な準備や学習方法を確認する。 ・進学希望の生徒にオープンキャンパスへの参加を勧める。 ・就職希望者へのガイダンス・個別面談を通して本人、親、希望先企業とのミスマッチが起きないようにする。 <p>(成果指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進学希望者の、志望校合格率90%以上。 ・就職希望者の内定率98% 内定辞退0 	<p>学習記録表の提出率100%は達成できなかったが考査において活用することができた。</p> <p>考査2週間前の目標学習時間達成者については、47.9%</p> <p>2/1現在 (3学年) 志望校合格率98% 就職希望の内定率99% (1名自己開拓中) 公務員合格率75%(1名受験中)</p>
<p>③規範意識の向上と道徳心の醸成</p>	<p>いきいき講座(学年別講演会)を実施し、自他ともに心と体、そして命を大切にする気持ちを育てる。</p> <p>(取組指標) 年1回いきいき講座 (成果指標) 生徒満足度80%以上</p> <p>社会人として身につけておくべき習慣を身につける。 (取組指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・欠席、遅刻の生徒には保護者と連絡を密に取り、健康状態の把握に努め、健康管理の大切さについての指導を行う。 ・学年集会等を通して規範意識を高める指導を行う。 ・みだしなみの指導を職員が一丸となって行なう。 <p>(成果指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学期1回以上の学年集会での講話 ・生徒に生活習慣についてのアンケートを行ない、改善意識を持った生徒を半数以上とする。 	<p>コロナ禍ではあったが、全学年でいきいき講座を実施することができた。満足度についても達成できた</p> <p>学年集会での講話は実施できた。 アンケートについても目標の数値は達成できた。</p>

	<p>生徒の人権意識向上 (取組指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権LHRを実施する。 <p>(成果指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権LHRは各学年学期毎に1回実施。授業公開は年1回。 ・人権LHRの参加生徒の満足度80%以上 	<p>人権LHRは各学期に実施できたが、コロナ禍で授業の公開はできなかった。 生徒の満足度は達成できた。</p>
<p>④運動知識の拡充と健康管理上の実践力の向上</p>	<p>学習にふさわしい健康的な環境を整える (取組指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期健康診断の実施 ・定期環境衛生検査の実施 ・SC、発達障がい支援員、SSWの活用 ・ケース会議の開催 <p>(成果指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康診断生徒受診率90%以上 	<p>新型コロナウイルス感染症の対策をしながら、すべての健康診断が実施できた。</p> <p>健康診断生徒受診率99%</p> <p>定期環境衛生検査は、水質検査6月、照度検査12月、1月、空気検査1月に行った。</p> <p>SC 年間32回来校、発達障がい支援員 年間11回来校、SSW 年間17回来校</p> <p>生徒・保護者のカウンセリング・面談、教員のコンサルテーションを行った。連動してケース会議を適宜行った。</p>
	<p>感染症予防対策に取り組む 【取組指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症に関するたよりの発行 ・健康観察 ・手洗い・うがいの励行 ・1日1回校内施設設備の消毒 	<p>保健だよりの発行2回</p> <p>1日1回校内施設設備の消毒を行った。</p>

	<p>健康に必要な基本的な体力の育成と知識の育成 (取り組み指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体力テストの実施 ・保健体育で学んだ内容を普段の生活に取り入れ、実践できるようにする。 <p>(成果指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新体力テストの総合得点を男女ともにCランク以上を80%、Aランクを各学年男女とも20名以上にする 	<p>体力テストを実施する前に、全体説明を行った。全国的な平均値や昨年の記録確認などを事前に知ることにより全体的に意欲的に取り組むことができた。</p> <p>休校期間や感染防止のために年間授業計画が大幅に変更にされた。そのため、3年生はスポーツ科学コースのみテストを実施した。成果目標の全学年・男女ともにCランク80%以上・Aランク20名以上を達成することができた。Aランク獲得者には賞状を配布した。</p>
<p>⑤地域に根ざした教育活動</p>	<p>地域の行事に生徒を引率することで、生徒の実態を見て頂く。 (取組指標)</p> <p>クラブ単位で参加する。特定のクラブに偏らないようにする。 (成果指標)</p> <p>数年で一通りの行事に参加できるよう配慮する。</p>	<p>コロナ禍により校外への引率ができなかった。</p>

B 学校運営等

<p>① コース制の再編 カリキュラムマネジメント</p>	<p>コース制の再編と新学習指導要領に対応する教育課程の作成</p> <p>(取組の指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラム委員会を通し、各教科と連携しコースの再編、教育課程を作成する。 <p>(成果指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コース制の再編をする。 ・教育課程表を作成する。 	<p>各教科との連携をとり、コース制の再編と教育課程表の作成に取り組んだ。</p> <p>コース制の再編については継続審議を行っており、教育課程表についてはほぼ作成できた。</p>
<p>② 家庭や地域とのさらなる交流</p>	<p>学校行事に地域の方や保護者を招待することで、生徒の実態を見て頂く。</p> <p>参加状況やアンケートの結果を分析し、次年度の公開のやり方を改善していく。</p>	<p>コロナ禍により校外との関わりを持つことができなかった。</p>
<p>② 家庭や地域とのさらなる交流</p>	<p>案内プリント・絆ネット・ホームページで情報発信をする。</p> <p>行事等は1ヶ月前には案内する。重要な案内プリントの内容は、きずなネットでも念を押す。ホームページは半月に一度は更新する。</p>	<p>実施できた。</p>

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">③組織力向上と業務内容の見直しによる過重労働の解消</p>	<p>働き方改革の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総勤務時間の縮減に向けた取組による時間外労働時間（上限対象時間）の削減 ・各月に定時退校日設置（昨年度実現率62.3%） ・休暇取得日数の向上（昨年度平均 17.85日） ・放課後開催会議を60分以内に終了する（昨年度93.6%） ・学校休業日の設置（昨年度取得率 76.6%） ・週1回以上の部活動休業日の設置 <ul style="list-style-type: none"> ・上限対象時間の年間累計360時間以内、および、月累計45時間以内の実現（全常勤職員） ・定時退校実現率 85%以上 ・休暇取得日数平均19日以上 ・放課後開催会議を60分以内終了の実現率85%以上 ・学校休業日の休暇取得率85%以上 ・週1回以上の部活動休業日の設置を全部活動で実現 	<p>【1月末現在】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総勤務時間縮減年間累計360時間超 7人 月累計45時間超 35人 月時間外（上限時間）平均 11.0時間（昨年度25.8時間） <ul style="list-style-type: none"> ・定時退校（5月以降月1日設定）定時退校実現率 75.1% <ul style="list-style-type: none"> ・休暇取得日数平均 17.8日 <ul style="list-style-type: none"> ・放課後開催会議の60分以内の実現率 100% <li style="padding-left: 20px;">※作業的な会議を除く <ul style="list-style-type: none"> ・学校休業日（8/13、8/14の2日）休暇取得率 90.6% <ul style="list-style-type: none"> ・週1回以上の部活動休養日の実現率 99.7%
--	---	---

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">④ 向上と不祥事の根絶 コンプライアンス意識の</p>	<p>コンプライアンス意識の向上と不祥事の根絶（別紙参照）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信頼される学校であるための行動計画の作成、見直し ・コンプライアンス自己診断シートによるチェックと職員研修の実施 	<p>コンプライアンス自己診断シートによるチェックと職員研修の実施を実施した。</p>
--	--	---

5 学校関係者評価

<p>明らかになった改善課題と次への取組方向</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響で、本年度は地域での各行事の実施が難しい状況であったが、地域とのつながりを大切にし、地域の行事等に参加、協力をお願いしたい。 ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、教育活動に様々な制約や、対応が必要であった一年だったが、引き続き感染症対策に取り組んで教育活動に取り組んでいただきたい。
----------------------------	--

6 次年度に向けた改善策

<p>教育活動についての改善策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は新型コロナウイルス感染症で制限された部分もあったが、次年度は感染症に関する制限を考慮しつつ、以前のような取り組みを取り戻すことを目指す。なおかつ今年度取り組んだオンライン教育を併用するなどして、コースの特色をいかし、主体的に学習活動に取り組む者をさらに増やす。 ・時代のニーズに合った教育内容を提供することを考えていく。カリキュラムの改編やコースにおける教育内容の精選を継続して行なう。 ・基礎学力が身についた生徒を増やすという目標についても、これまで実践してきた取り組みを継続し、オンライン教育の併用や、学校内の業務の見直しをはかる事で、より多くの時間を生み出し、この課題の解決に当てていく。 ・新型コロナウイルスに関わって、今後生徒の進学と就職の状況に変化が生じる可能性がある。新しい基準があれば、早期に対応し、また参考となる実践例があれば積極的に取り入れ、社会状況の変化に対応した進路指導を行なう。
<p>学校運営についての改善策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年が5クラスとなり、職員数も変化している。また、生徒の様子や社会の状況も変化している。以上のような変化に対応して、行事や業務内容を含めた学校運営の仕方を改善していく必要がある。現状にそぐわない行事や業務はやめて、生徒や学校に必要な業務にかける時間を増やす。 ・職員数が減少する中で、業務の見直しに加え、分掌同士の連携を密にする必要がある。特定の分掌や職員に業務が集中することがないように、分掌間で連携する。 ・新型コロナウイルス感染症に関わって様々な制限があるなかでも本校の魅力や取り組みをアピールする方法を考え、実施していく。また、地域の行事への参加も継続して地域との関わりも継続していく。 ・地域や社会全般の状況に対応した選抜方法についての検討と見直しを行なう。